

2021年9月7日

プレスリリース：報道機関各位

株式会社アイセック

代表取締役 CEO 木村大地

令和3年度新潟県「市町村データヘルス計画策定・実施支援のための医療情報分析等事業」をアイセックが受託しました

～健康・医療データから地域の健康課題を分析し、新潟県とともに全30市町村国保を支援します～

株式会社アイセック（本社：新潟市中央区、代表取締役 CEO：木村大地、以下「アイセック」）はこのたび、新潟県より「市町村データヘルス計画策定・実施支援のための医療情報分析等事業」（以下「本事業」）を受託しましたのでお知らせいたします。

■事業背景・目的

2018年度から都道府県が国民健康保険（以下「国保」）の保険者に加わり、データに基づいた保健事業を実施する市町村国保のデータヘルス計画に関し、広域的な見地から、好事例の横展開など積極的な役割を果たすことが求められています。

各市町村は今後、2024～29年度を対象とした次期データヘルス計画の策定期を迎えます。本事業は、新潟県が県内全市町村の計画策定・実施業務を支援するため、医療情報等の分析を通じて地域ごとの健康課題とその背景を可視化するとともに、分析に基づく有用な支援ツールの作成につなげるものです。ハイリスク者抽出のためのツール作成や、市町村保健事業のより効率的・効果的な実施も目指しています。

■事業受託期間

2021年9月2日～2022年3月31日

■受託事業者

株式会社アイセック

【以下5社との共同事業体】

株式会社 BSN アイネット

有限責任監査法人 トーマツ

株式会社 JMDC

株式会社 ヒューマンライフ・マネジメント

INSIGHT LAB 株式会社

■業務内容

1. 個人の匿名化したレセプトデータ等や、公的統計データに基づく健康課題の分析

複数種類のデータを掛け合わせることで社会的背景を加味した健康・医療情報の分析を行い、市町村国保の健康課題を可視化します

(分析結果の可視化イメージ)



2. 市町村保健事業の整理・検証

県内 30 市町村へのヒアリング等を通じ、現在実施されている保健事業を体系的に整理し、既存事業の構造を可視化します

3. 標準的データヘルス計画ひな形の作成

市町村が策定しているデータヘルス計画の次期計画の策定に向け、ひな形となる標準的な評価指標等を作成することで、効果的・効率的な保健事業の実施を支援することを目指します

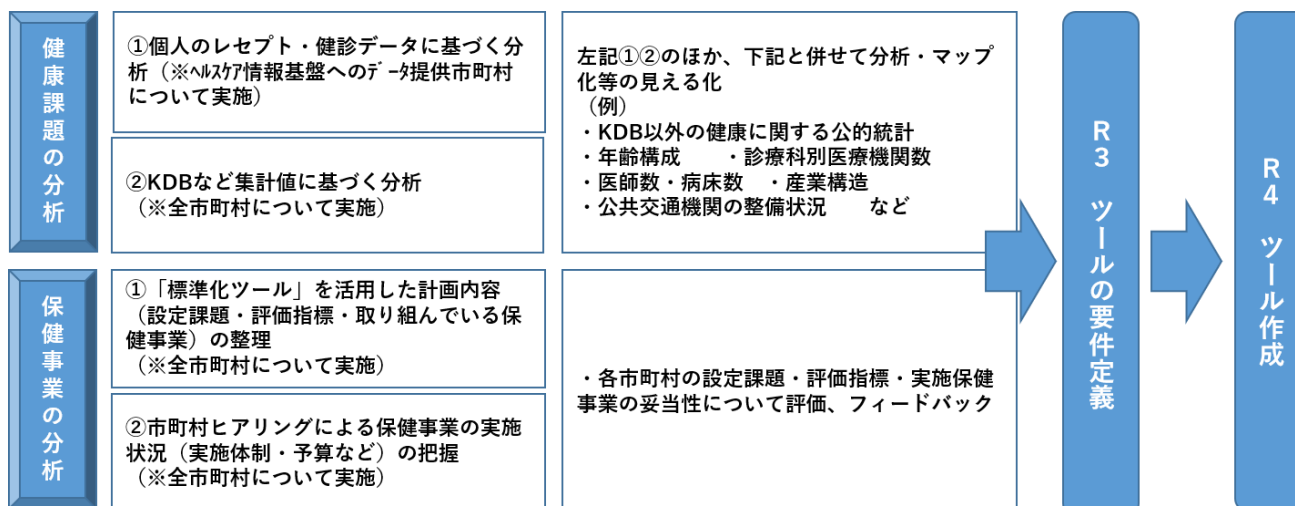
4. データヘルス計画策定等支援ツールの要件定義作成

データヘルス計画の策定や、医学的エビデンスに基づいた施策立案等を支援するツールの将来的な作成に向け、要件定義を行います

5. 市町村職員等への技術的支援の実施

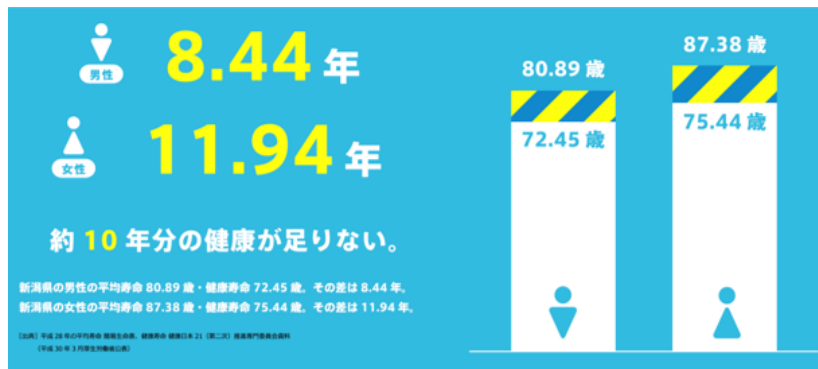
医療情報等の分析結果やツールの活用方法等について県内 30 市町村の担当職員に説明し、効果的な保健事業の実施につながるよう支援します

<事業のイメージ>



■アイセックについて

アイセックは、新潟県の健康寿命延伸に寄与を目的とし、2019年に新潟大学医学部血液・内分泌・代謝内科学教室と共同で設立した新潟大学発ベンチャー制度の第1号公認企業です。医学的エビデンスをもとにした健康医療ビッグデータ分析やオンライン健康教育、企業の健康経営取得、推進に関わる様々な支援業務等を行っています。2020年度に新潟市の健康医療情報等分析業務を受託事業として実施した実績があります。



【取材を希望される際は、下記の間合せ先までご連絡ください】

社名 : 株式会社アイセック

住所 : 〒951-8121

新潟県新潟市中央区水道町 2 丁目 5932-165

担当者 : 広瀬 彰太郎

連絡先 : 025-367-9264

Mail : shotaro.hirose@iseq.co.jp

HP : <https://iseq.co.jp/>



株式会社アイセック
i S E Q